



昨年は、台風に見舞われた8月でしたが、今年は大きく天気がくずれることなく、帯広で開催されましたU15大会もスムーズに進められました。全道各地より審判員の方がご協力下さり、とても有意義な活動ができたと思います。ありがとうございました。

さて、インターハイに行かれた方のレポートを一部紹介しますので共有して下さい。



- ・大会名 平成29年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技
- ・派遣期間 平成29年7月27日～7月31日・大会場所 宮城県8会場(ピッチ数:10)
- ・研修スケジュール

日にち	時間	内容	担当試合	備考
7月27日	12:15	集合・受付		
	13:30 ~	講義①		
	15:00 ~ 17:30	研修会①・プラクティカルトレーニング		2グループ
	19:45 ~ 20:45	研修会②(競技規則テスト)		
7月28日	9:30 ~ 10:30	フィジカルトレーニング		
	10:30 ~ 13:30	研修会③・プラクティカルトレーニング		2グループ
	14:30 ~ 16:00	研修会④		
	19:00 ~ 20:30	研修会⑤		1級審判員・研修審判員
7月29日	8:00 ~	フィールドインスペクション		
	9:30 ~	7会場(ピッチ数:9)、23試合	明徳義塾高校 - 東福岡高校(AR1) 日大藤沢高校 - 一条高校(4th)	
	19:30 ~ 21:30	研修会⑥		1級審判員・研修審判員
7月30日	8:00 ~	フィールドインスペクション		
	9:30 ~	6会場(ピッチ数:8)、16試合	流通経済大柏高校 - 遠野高校(AR2)	
	16:30 ~ 18:30	研修会⑦		1級審判員・研修審判員
7月31日	8:00 ~	フィールドインスペクション		
	9:30 ~	3会場(ピッチ数:4)、8試合		

【1. 講義・研修会】

7/27 13:30～講義① **テーマ:水分補給** インストラクター: 島田氏 (フィットネス)
 内容: 運動時の効果的な水分補給について、どのような物を、どのくらいの量とるべきなのか。また、水分、塩分、糖質の重要性についての講義内容であった。高校総体が猛暑の中行われる場合が多いことから、競技者はもちろん、審判員に関しても摂取すべき水分、塩分、糖質を学ぶことが出来た。具体的には日常生活レベルでは水で十分であるが、サッカーを始めとする激運動では5℃～15℃のアイソトニック飲料を運動前に、そして、運動中にはハイポトニック飲料の摂取が望ましい。また、塩分に関してはサッカー1試合には約3gの塩分が抜けるためその量の摂取が最善であり、審判員に関しても、その運動能力を最大限に活かすためには効率的な水分補給が必須であると感じた。

7/27 15:00～ 研修会① テーマ：判定基準

内容：FIFAのファールに関する実際の試合の資料映像より、12シーンをその程度の重大さ順に並べるといった内容である。その中では、ノーファール・ファール(ノーカード)・ファール(警告)・ファール(退場)の4カテゴリーに分類し、更にその中を具体性、細分性をもとに程度順にしていく。特にファールがあるかないかだけでなく、どの競技者のどの部分が、相手競技者のどこに接触をしているか、また、アプローチの強さ、距離などより具体的に一瞬のうちに判断出来るかどうか求められた。4カテゴリーの分類に関しては大まかできたが、その中を更に具体性をもとに細分化し程度の重大さ順に並べるのが容易ではなかったが、観るべきポイントの整理がなされたことは非常に良い経験となった。

7/27 19:45～ 研修会② テーマ：競技規則テスト

内容：各自がPCまたはスマートフォンを持参し、WEB上で1問4点、計25問、全て5者択一の競技規則テストが行われた。20問は競技規則の一部を切り取り、それが正しいまたは正しくないものの選択問題、残る5問は実際の事象から判定・再開方法・再開場所の組み合わせから正しいものを選ぶ形式であった。

7/28 12:00～ 研修会③ テーマ：ファールに関する判定と、レフリーの動き

内容：実際の試合の3映像から各グループが1つ選択し、ファールの判定について、ディスカッションし、よりよい判定をするためのポイントの整理をした上で、レフリーの反省点と改善点をまとめた。具体的にはレフリーとして「いつ・どこを観るのか」、「予期予測とは」、「動き出すタイミングと加速」、「ボールサイドから目を切つてよいタイミング」、「効果的なポジショニング」がポイントとして挙げられた。サッカーをどのくらい観られているか、また、その上で予期予測が出来ているか。自身のフィジカル能力は十分か、展開を予測し、説得力のあるポジショニングがとれているかなど、自身を省みることが出来た、よい研修会となった。

7/28 14:30～ 研修会④ テーマ：競技規則改正について *省略

7/28 19:00～ 研修会⑤ テーマ：研修審判員としての自覚と翌日から始まる競技への注意事項確認
インストラクター：荒上敬司氏、柏原丈二氏

内容：1級審判員が合流し、研修審判員とあわせての研修会となった。高校総体サッカー競技における審判員としての自覚と主催する宮城県、宮城県サッカー協会を始めとする、本大会のために準備して下さった方々への感謝を持ち、審判員として何が出来るのか。試合に関する注意事項では、キックオフ時刻の厳守(チームによってはセレモニー等が長くかかる場合あるので)、ウォーミングアップ中の先発選手のケガ等による選手交代の取り扱いについて、ベンチマナーの徹底(手順を踏んでの対処)、また、レフリーについては試合前も含めレフリーがイニシアチブを取り、打ち合わせをしっかりと取り審判団として試合に臨むことが周知された。テーマとしては「動きとポジショニング」ということが再確認された。